



【学校教育目標】人との関わりの中で 真の逞しさを身につけた 児童生徒の育成

泉だより

No.11

令和3年12月24日

京都市立東山泉小中学校

校長 木下 淳



師走... 1年の締めくくり

令和3年の締めくくりとなりました。今年も新型コロナウイルス感染拡大により、生活の様々な場面で制限のある1年となりました。

今年はみなさんにとって、どんな1年だったでしょうか。新年1月には、今年の目標を立てた人も多いと思いますが、その目標は達成できたでしょうか。学習、運動、部活動、健康、趣味...などのことで目標を立てた人もいでしょう。自分にとって、この1年がどうであったか、この機会に振り返ってみてはどうでしょうか。

12月は、「師走」と言います（師馳と書くこともあるようです）。「師が走る」という字面から、まさに年末の慌ただしい気分までうまく表した言葉のように思えますが、この漢字は「当て字」ともいわれ、語源も諸説あってはっきりしないということです。最も広く知られている話を紹介します。

「師」とは、お寺のお坊さんのことで、日本には昔から、年末にお坊さんに自宅まで来てもらい、お経を唱えてもらうという風習がありました。そのために、年末にはお坊さんは、あちらこちらを行ったり来たりと大忙しとなります。その様子を見て「師が馳せる」から師走になったという説です。

今年も残すところ1週間となりました。今年1年間を振り返ってみて、先延ばしにしていたことや、やり残していることがあるなら、この機会に取り組んでみてはどうでしょうか。

やり残すことなく、1年を締めくくり、すっきりとした気持ちで令和4年を迎えましょう。

今年の漢字「金」



2021年を表す漢字は「金」。

日本漢字能力検定協会が12月13日、1年の世相

を表す「今年の漢字」を発表しました。日本漢字能力検定協会によると、東京オリンピックで日本人選手が多数の「金」メダルを取ったことや、大谷翔平選手が大リーグでMVPを獲得、藤井聡太さんの最年少四冠達成など各界で「金」字塔を打ち立てたことなどを挙げています。「金」が選ばれるのは2000年、12年、16年に続き4回目で、いずれもオリンピックイヤーです。新型コロナウイルスが世界中に流行した昨年の「漢字」は「密」でした。

変異株「オミクロン株」の出現や第六派の到来が危惧される中、明るいイメージの漢字が選ばれたことは喜ばしい限りです。1日も早く、新型コロナウイルスが収束することを願っています。

和風月名					
1月 睦月 むつき	2月 如月 きさらぎ	3月 弥生 やよい	4月 卯月 うづき	5月 皀月 きつき	6月 水盡月 みなづき
7月 文月 ふみづき	8月 景月 かげづき	9月 長月 ながつき	10月 神無月 かんなづき	11月 霜月 しもづき	12月 師走 しわす

合唱コンクール(6~8年生)

合唱コンクール(学年毎)を実施しました(感染防止対策としてパーテーションを設置しています)。

「心をひとつに」...この日のために約10日間、各学級で指揮者・伴奏者・パートリーダーを中心に練習に取り組んできました。当日は各学級の美しいハーモニーが、体育館に響き渡りました。

学級全体で一つのものを創り上げる喜びを子どもたちは、実感してくれたと思います。



※2月3日(木)には、「学習発表会」(西学舎)を、学級ごとの授業参観形式で実施予定です。

冬季休業について

12月27日(月)から冬季休業に入ります。12月28日(火)から1月4日(火)の間は学校閉鎖期間となります。来客対応や電話対応も控えさせていただきます。ご理解の程、よろしくお願いいたします。放課後学び教室、登校時の見守りなど、来年もお世話になりますが、よろしくお願いいたします。3学期始業式は、1月6日(木)になります。

みなさん、よいお年をお迎えください。